

科目区分	専門分野			科目番号	1402	曜日時間	
授業科目	基礎看護学実習Ⅱ						
単位数	2 単位	時間	90 時間	開講時期	2年次後期	授業形態	臨地実習
担当教員	宮下 梨沙						
授業目的	様々な健康状態にある患者とその人の療養生活について理解し、その人らしい日常生活を送るための看護に必要な知識・技術・態度の理解を深める						
中核	一連の看護過程を踏まえた、看護を実践する基礎的能力育成						
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者を全人的にとらえるために、看護に必要な情報を意図的に収集することができる 2. 得られた情報をもとにアセスメントを行い、看護上の問題を明確にできる 3. 安全・安楽・自立を考慮し、看護を実施することができる 4. 実施した看護を振り返り、自己の課題を明確にすることができる 						
授業の内容と方法	日	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	12日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者を全人的にとらえるために、看護に必要な情報を意図的に収集する <ol style="list-style-type: none"> 1) 療養生活に関心を寄せ、生活者としてとらえる 2) 日常生活に関する情報を収集する 3) コミュニケーションを図り、バイタルサイン測定、フィジカルアセスメントを行う 2. 得られた情報をもとにアセスメントを行い、看護上の問題を明確にする <ol style="list-style-type: none"> 1) 情報の分析・推測・解釈・判断・選択・統合を行う 2) 看護上の問題を明確にする 3) 問題を解決するための、援助計画を立案する 3. 安全・安楽・自立を考慮し、看護実践を行う <ol style="list-style-type: none"> 1) 援助計画に基づいて、安全・安楽・自立を考慮し援助を実施する 2) 患者の反応をもとに、計画の追加・修正を行う 4. 看護実践を振り返り、自己の課題を明確にする 	臨地実習	90	各担当教員	実践活動の場以外の実習 12時間	
事前課題	日常生活援助技術、看護過程、解剖生理・病態等						
評価計画方法	出席状況、健康管理状況、実習態度などを含め、実習評価表の項目に沿って総合的に評価						
テキスト参考図書	既習のテキスト、必要な文献						
実務歴有	看護師・保健師：病院勤務 14年 看護教員：学校勤務 2年						
講義への反映	病院勤務の経験を活かし、状況に即した実習を展開する						
備考	学内実習（実践活動の場以外の実習）の詳細に関しては実習要項に記載あり						